

広報ほんべつ

# 本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

2018  
May  
No.1075

5月

表紙 平成30年度  
勇足小学校入学式



Pick up

- ✿ 本別山溪つつじまつりが開催されます
- ✿ ほんべつ健康ウイーク2018が行われます
- ✿ まち・ひと・しごと創生総合戦略の更なる推進を目指して **その1**
- ✿ 税の不納欠損と町税の不納欠損状況について
- ✿ 地域おこし協力隊が行く **Part3**



## ステージショー



加納ひろし歌謡ショー  
午後0時45分～



司会  
かみむらしんや ふれさわひろみつ



## タイムスケジュール

- 午前10時～  
開会宣言  
溪流魚放流・釣り  
各種売店コーナー  
つつじ等即売会  
ふわふわランド  
本別義経太鼓  
だがしや楽校  
開会式  
ジャンボ義経鍋  
(1杯200円・1000食)  
野だて  
OCTVキャンペーン  
十勝青空レディ紹介  
ゲーム大会(うなぎつかみ大会)  
つつじ祭り写真コンテスト&モデル撮影会  
ステージショー&ゲーム大会  
閉会式



## 第60回本別山溪

# つつじ祭り

5月13日

決行  
小雨

午前10時～

義経の里本別公園 ステージ前

主催…本別山溪つつじ祭り実行委員会

第60回本別山溪つつじ祭りが5月13日、本別公園で開催されます。今回の会場は、平成28年台風被害の復旧工事が終了したため、2年ぶりにステージ前で実施します。1万6000株のエゾムラサキツツジと2000本のエゾヤマザクラ、盛りだくさんの催しで皆さんをお迎えします。

## 国民年金 コーナー

知らない損をする  
年金の増やし方

60歳からの任意加入

その193

国民年金保険料を20歳から60歳までの40年間納付することにより、老齢基礎年金は満額の77万9300円(平成30年度)受け取ることが出来ます。保険料を納めていない期間(未納期間)がある場合は、未納期間に応じて受け取る年金額が少なくなってしまうです。保険料を納めた期間が40年間に満たないときや、老齢基礎年金の受給資格期間を満たしていない人は、受け取る年金額を増やすことや、年金の受給資格を得るために、60歳以降でも国民年金に任意加入することができます。

- 任意加入できる人
  - ・年金額を増やしたい人
  - ・60歳～65歳まで
  - ・受給資格期間を満たしていない人



※老齢基礎年金を繰り上げ受給している人や、厚生年金に加入している人は任意加入することができません

### ○手続方法

次のものをお持ちになり、役場住民課戸籍年金担当窓口で手続きしてください。  
・マイナンバーカードまたは通知カード  
・本人確認書類(免許証等)  
・年金手帳または基礎年金番号通知書  
・預貯金通帳と通帳の届出印  
※任意加入は申し出のあった月からの加入となり、さかのぼって加入することはできません

### ○保険料について

国民年金保険料は第1号被保険者と同等です(平成30年度は月額1万6340円)

### ○60歳から年金を増やしたい人におすす

国民年金保険料に加えて、付加保険料(月400円)を納めると、老齢基礎年金に付加年金を上乗せして受け取ることが出来ます。  
※付加年金の年金額は200円×付加保険料納付月数

問い合わせ  
実行委員会事務局  
(企画振興課商工観光・元気まち担当)  
☎ 22-2141

詳しくは  
住民票戸籍年金担当へ  
6222-8128  
日本年金機構のホームページは  
<http://www.nenkin.go.jp/>



**町体育協会加盟団体主催および各団体共催イベント 参加費あります**

**★ふまねつとガンバルーン体験会**

と き 5月28日(月) 午前10時30分～午前11時30分  
 ところ あいの里交流センター  
 問い合わせ 本別町社会福祉協議会 ☎22-8320 ※申し込み不要



**★柔道体験会**

と き 5月29日(火) 午後7時～午後9時  
 ところ 柔剣道場(本別中学校隣)  
 問い合わせ 柔道連盟 古山靖弘さん ☎090-5079-8667  
 ※申し込み不要、動きやすい服装でお越しください



**★親子テニス教室**

と き 5月29日(火) 午後7時～  
 ところ ふれあい多目的アリーナ  
 申し込み テニス協会 小川末男さん ☎080-9039-2593

**★ゲートボール大会**

と き 5月30日(水) 午前8時30分～午後1時30分  
 ところ ふれあい多目的アリーナ  
 申し込み 5月18日(金)までに  
 ゲートボール協会 矢部英夫さん ☎22-5529



**★弓道体験教室**

と き 5月30日(水) 午後6時～午後8時30分  
 ところ ふれあい多目的アリーナ  
 申し込み 弓道連盟 七田章さん ☎22-2663 ※当日申し込み可



**★バスケットボール体験交流会**

と き 5月30日(水) 午後6時～  
 ところ 本別中央小学校第1体育館  
 内容 ミニバス、ジュニア、高校、一般の部  
 個人・チーム参加どちらでも可  
 申し込み バスケットボール協会 川口道行さん ☎090-8709-5713  
 ※当日申し込み可



**★勝毎杯ミニバレー大会**

と き 5月30日(水) 午後6時30分～午後9時30分  
 ところ 本別中学校体育館  
 内容 混成(男2女2)・160歳未満の部・160歳以上の部  
 男子1人女子3人のチーム構成も可  
 参加料 1人500円 参加賞・景品あり  
 申し込み 5月11日(金)までにミニバレー協会 高瀬英明さん  
 ☎080-5585-9730または FAX 22-4942

**★バドミントン体験会**

と き 5月30日(水) 午後6時30分～  
 ところ 町体育館大競技室  
 申し込み バドミントン協会 山西美奈子さん ☎090-3777-2976  
 ※当日申し込み可

問い合わせ

町体育館内スポーツ担当 ☎22-2331

※詳しくは、暮らしの情報紙かけはし5月15日号折り込みチラシをご覧ください

健康スポーツ週間事業

**ほんべつ健康ウイーク**

気軽に運動、さわやかな笑顔

2018

本別町および教育委員会では、運動の実践により健康な心と身体を養う活動強化週間として、「ほんべつ健康ウイーク2018」を開催します。期間中、体育施設の無料開放ほか、だれもが参加しやすい内容やスポーツ大会、運動体験教室などを実施いたしますので、気軽に参加し、体力向上や健康づくりに取り組みましょう。

と き **5月28日(月)～6月3日(日)**

ところ **町内全域**

主催/本別町、本別町教育委員会 共催/本別町体育協会、本別町社会福祉協議会、森と川の舎

**主催者イベント**

参加費あります

日程	イベント名	時間	会場	定員	申し込み・参加料
5月28日(月)	オープニング&早朝ラジオ体操	午前7時～ 午前7時15分	役場正面玄関前(南側)	なし	不要 無料
5月30日(水)	神居山と諏訪山に登ろう!	午後1時30分～ 午後3時30分	道の駅ステラ★ほんべつ 東側入口集合	なし	要 無料
5月31日(木)	腰痛予防運動講習会 講師 若林健一氏	午後7時～ 午後8時30分	体力増進センター	10人	要 無料
6月1日(金)	豪華景品! ディスコン大会	午後6時30分～ 午後9時	町体育館	なし	要 無料 景品有
6月3日(日)	太陽の丘パークゴルフ大会	午前9時～	太陽の丘パークゴルフ場	なし	要 1,500円 景品有

期間中、すべての体育施設を無料開放します!! (休館日は除く)



健康をテーマとした関連事業も開催されます

**子育てママのための  
リフレクシユ講座「骨盤ケア」**  
 と き 5月28日(月)  
 午前10時～午前11時30分  
 ところ 健康管理センター  
 申し込み締め切り  
 5月21日(月)  
 申し込みおよび問い合わせ  
 子育て支援センターほんべつ  
 ☎22-18811

**みんなで貯筋!!(運動教室)**  
 と き 5月30日(水)  
 午前10時～正午  
 ところ 健康管理センター  
 講師 諏訪中央病院  
 名譽院長 鎌田實先生  
 運動指導 スポーツ指導員  
 我妻勇次さん  
 申し込み締め切り  
 5月23日(水)  
 申し込みおよび  
 問い合わせ  
 健康管理センター  
 ☎22-12219

**ほんべつ学 春のまなび  
「マチプラ歴史ウォーキング」**  
 昔の街並みの写真を見ながら、  
 まちなかをプラリと散歩します。  
 と き 5月31日(木)  
 午前10時～午前11時30分  
 問い合わせ 歴史民俗資料館  
 ☎22-12141(内410)  
 図書館 ☎22-15112

将来に渡って活力ある地域を維持していくために  
「まち・ひと・しごと創生総合戦略の更なる推進を目指して」  
その1

現在、本町におきましては、今後の人口減少に対応すべく、本別町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、さまざまな事業や取り組みを進めています。地方創生に推進にあたっては、平成27年10月に策定した総合戦略に基づく数値目標や検証時の参考となる重要業績評価指標（KPI）を参考に、施策や事業効果等の検証を行い、推進方策の改善を図りながら、着実に推進することが求められています。

今回は、4つの基本目標のうち、「地域資源を活用し、元気な産業と安定した雇用を確保・創出する」目標についての数値目標や成果指標の達成状況等についてお知らせします。

数値目標の達成状況

**基本目標1 地域資源を活用し、元気な産業と安定した雇用を確保・創出する**

- 経済を支えるあらゆる産業における積極的な事業活動への支援を行い、産業振興を図る
- 創業・起業の促進および地域資源を活用した新産業の創出・育成などを通じて、地域産業の形成・活性化を図る

(計画時)数値目標	平成31年度	①町内事業所数 400事業所	②新規雇用創出数 ※1 (5年累計) 45人
※1 左ページの重要業績評価指標の積み上げ			
実績値	平成27年度	397事業所	5人
	平成28年度	388事業所	(平成27～28年度) 33人
	平成29年度	388事業所	(平成27～29年度) 39人
達成度 ※2		B	A

※2 達成度の目安 A：目標値達成 B：目標値の7割以上達成

重要業績評価指標（KPI）の進捗・達成状況

基本目標1に掲げる「地域資源を活用し、元気な産業と安定した雇用を確保・創出する」取り組みでは、農業や商工業、福祉分野等における人材確保や各産業振興を中心に推進してきており、これまでの取り組みが反映される重要業績評価指標についての実績や達成状況については、以下のとおりとなっています。

なお表中、最右列の達成度のアルファベット表示は、目標指標に対する達成状況の目安として、A：目標値達成、B：目標値の7割以上達成、C：目標値の5割以上達成、D：目標値の5割未満達成の区分により表示しています。

重要業績評価指標（KPI）：Key Performance Indicatorの略称  
施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標をいう

主な施策項目	重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (H31年度)	実績値		達成度	
			(上段H28)	(下段H29)	(上段H28)	(下段H29)
1. 地域産業の振興による雇用の安定・創出	農畜産物生産高	10,431百万円 (平成30年度)	11,560百万円	12,400百万円	A	A
	新規就農者数 (新規参入者・継承者数 ※パートナー含む)	50人 (5年累計)	12人	21人	C	B
			25百万円	調査中	A	-
	有害鳥獣による農林業被害額	30百万円	410頭	640頭	A	A
	有害鳥獣 (エゾシカ) 捕獲頭数	700頭 (5年累計)	92.17ha	128.25ha	B	B
	造林面積	300ha (5年累計)	10人	13人	B	B
	新卒者の地元就職数 (人)	30人 (5年累計)	15人	19人	A	A
	農福連携による就労者数 (人)	10人 (5年累計)	2人	3人	C	C
	介護職員資格取得者数 (人)	10人 (5年累計)	6件	8件	B	B
	2. 起業家支援による雇用の創出	起業件数 (件)	15件 (5年累計)	3件	4件	C
新商品開発件数 (件)		10件 (5年累計)	0件	0件	D	D
3. 地域資源を活用した新産業の創出	誘致企業数 (件)	3件 (5年累計)	0件	0件	D	D
	町外からの起業家数 (件)	5件 (5年累計)	0件	0件	D	D
4. 地域ブランド確立による雇用の創出	特産品販売高 (万円)	1,200万円	800万円	1,020万円	B	B
	商談成約件数 (件)	15件 (5年累計)	8件	10件	A	A
5. 求人情報の一元化による情報提供と就業機会の確保	求人相談件数 (件)	100件 (5年累計)	5件	17件	D	D

まち・ひと・しごと創生推進委員会 (町民会議)

総合戦略の推進にあたっては、住民代表や産学労など構成する「まち・ひと・しごと創生推進委員会」(水谷千治会長、右表参照)において、関連する取り組みや検証等について積極的な意見交換が行われています。



氏名	分野区分
南部 恭平	J A本別町青年部
池田 圭吾	本別町商工会青年部
三村 智勝	建設業協会二世会
黒崎 嘉方	北海道立農業大学校
渡辺 晃史	北海道本別高等学校
岡本 洋一	本別金融協会
谷口 航大	本別地区連合
松田 稔	本別町社会福祉協議会
小笠原 愛	本別町子ども子育て会議
大和田 和盛	本別町自治会連合会
平田 峻太	一般
水谷 千治	一般
今村 周平	一般
佐川 千夏	一般
南部 ゆかり	一般

(平成30年3月末現在)

問い合わせ 企画振興課 地方創生推進室 ☎ 22-8121

# 税の不納欠損と町税の不納欠損状況について

平成30年2月7日に開催された元職員の不祥事についての町民報告会で、不能欠損について説明させていただいているところですが、あらためて不祥事の原因となった税の不納欠損についての説明と、町税の不納欠損状況について報告いたします。

なお、税の収納業務については、「本別町収納・滞納整理等業務マニュアル（平成28年11月作成）」において、一部事務の見直し、収納の流れ、滞納者の対応方法、担当課長や関係職員による業務連携などの内容を整備してきたところであり、今後も税の適正な収納管理、滞納整理に努めてまいります。

## 税の不納欠損について

税金は行政サービスの貴重な財源であり、また、公平公正な納税が不可欠です。そのため、納期限までに納付がない場合は、文書や訪問等による請求を行い、必要に応じて財産の差し押さえなども行っていますが、徴収困難な場合については、不納欠損処理を行います。

## 不納欠損とは

生活実態や財産調査、差し押さえなどを行った結果、税の法律に基づく徴収困難と町が判断し、その状態が一定期間継続した場合に納税義務が消滅します。その納税義務が消滅した税金を、町の未収金から無くすることを不納欠損と言います。

## 不納欠損の決定は

滞納者の実態を把握している納税担当者が、定期的に不納欠損を行うための書類を作成します。納税担当者は上司（課長・副町長・町長）に対し、不納欠損内容の説明責任を果たし、町長が最終決定を行います。

## 公平公正な

### 納税への取り組み

不納欠損は、やむを得ない事情により処理されるものであることから、適正な判断と財産調査や差し押さえの強化により公平公正な納税に取り組みます。

## 【税の法律に基づく徴収困難とは】

- 滞納者の実態が3年間継続して、次の状態にあるとき
    - 実際に住んでいる場所や勤務先、財産を調査したが不明なとき
    - 日常生活を送るための必要最小限の生活費しかなく、差し押さえを行うことで生活ができなくなる
    - 差し押さえる財産がないとき。また、差し押さえを行ったが、徴収できない税金があるとき
  - 滞納者が死亡し、財産もなく、相続人もいないとき
- ※徴収困難の見極めは、生活実態や財産調査等を継続して実施し判断します

問い合わせ

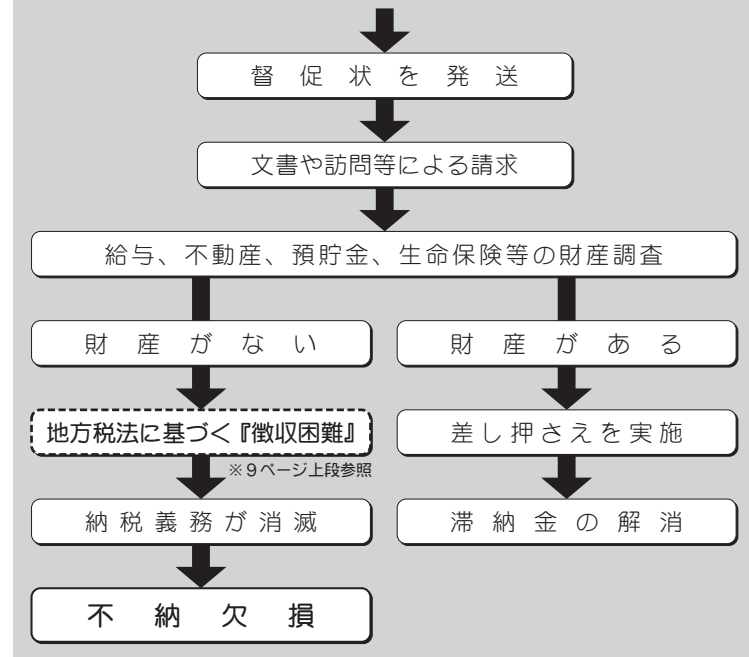
住民課 税務担当  
☎ 22-8127

町税の不納欠損状況（平成22年度～平成28年度） 上段：金額(円) 下段：人数(人)

税目	年度別							
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
住民税	個人	628,788	1,718,430	3,499,531	2,914,166	2,673,570	2,455,158	3,235,098
	町民	23	59	66	78	60	43	32
	法人			312,000	120,000		300,000	120,000
計			1	1		3	2	
	628,788	1,718,430	3,811,531	3,034,166	2,673,570	2,755,158	3,355,098	
軽自動車税	82,500	81,600	98,300	187,800	146,800	149,000	76,641	
	7	15	17	22	23	18	12	
固定資産税	1,690,100	2,219,200	6,001,960	1,404,169	1,066,795	960,500	275,500	
	16	36	33	36	28	29	18	
3税計	2,401,388	4,019,230	9,911,791	4,626,135	3,887,165	3,864,658	3,707,239	
	46	110	117	137	111	93	64	
国民健康保険税	4,390,648	8,207,864	9,937,736	9,687,020	7,896,111	4,466,880	3,505,800	
	33	62	74	67	53	45	27	
合計	6,792,036	12,227,094	19,849,527	14,313,155	11,783,276	8,331,538	7,213,039	
	79	172	191	204	164	138	91	

## 不納欠損までの流れ

《税金を滞納したとき》





# 水道工事・下水道工事にご協力を

今年度も水道工事・下水道工事を計画図の通り行います。水道工事の際には、一時断水や多少水が濁ったりする場合があります。下水道工事では、箇所によっては工法上、作業中に車両通行止めのごも出るため、回り道の案内標識をご確認の上、通行をお願いします。皆さんにはご不便をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

## 下水道の普及状況は

町公共下水道は皆さんの温かいご理解で、平成3年3月末に供用を開始した後も順調に進み、平成29年度末で整備面積が287.3ha（事業認可面積370ha中、管きよ（下水道の埋設）の総延長は51.5kmとなりました。平成29年度の水洗化など（トイレ、台所、風呂）の状況は、改造工事および新築による接続を合わせて12件で（個人、法人、団体すべてを含む）、これまでの累計は2630件となり、水洗化率は91.31%となりました。

## 水洗化改造工事に融資・補助制度があります

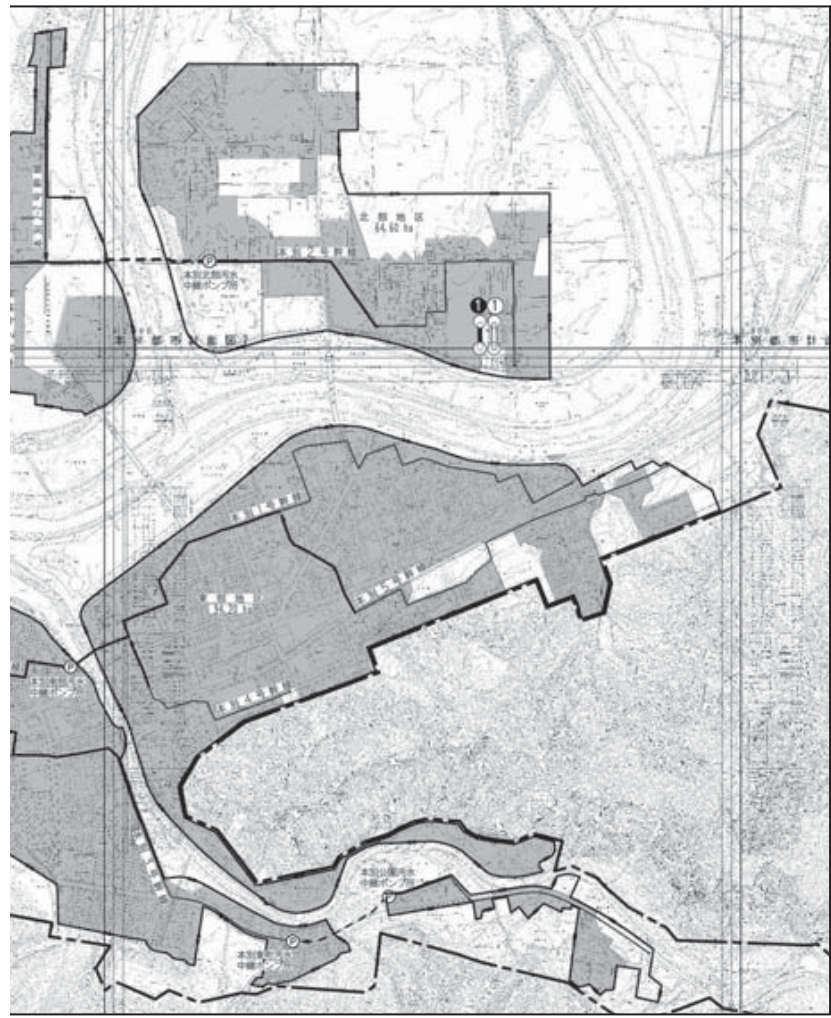
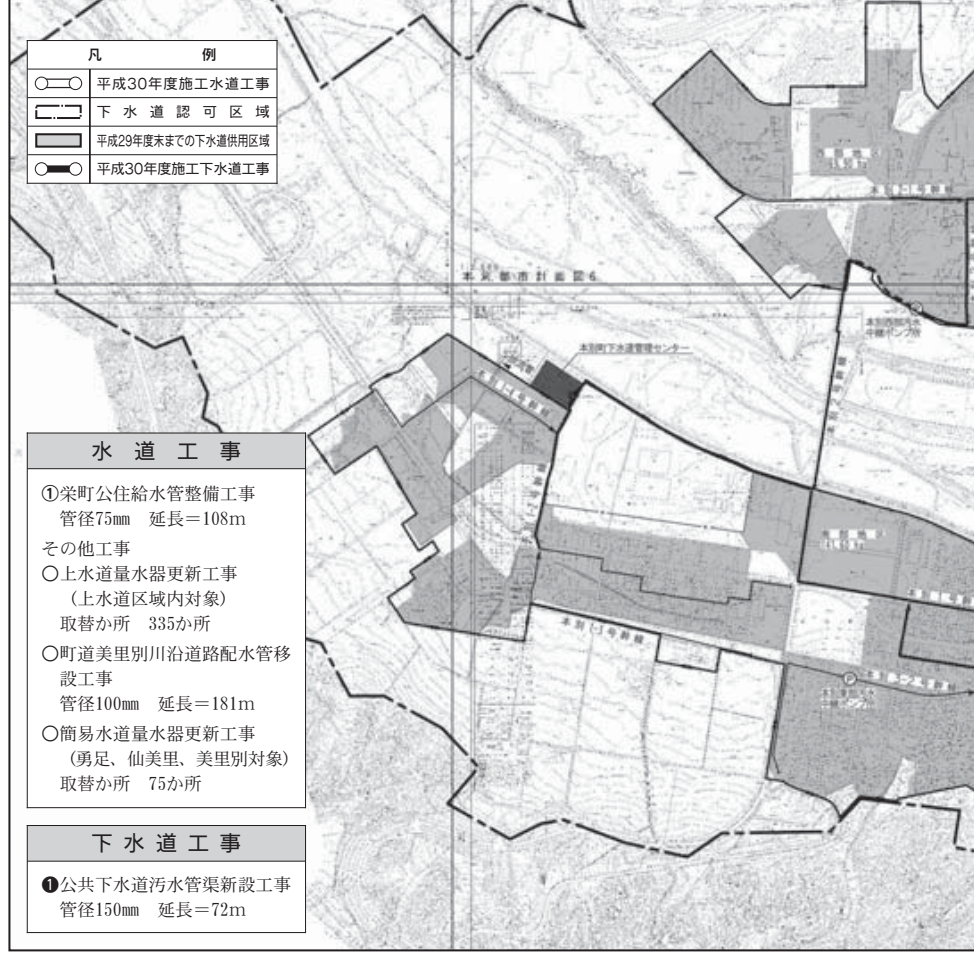
融資あっせん制度は融資額の上限が60万円。自己資金で工事を行った人への補助金の上限は6万円となっています（供用後3年以内に工事をされた場合）。3年を過ぎてから工事を行った場合は、1年経過ごとに上限の額が少しずつ低くなり、補助については5年で打ち切りとなります。

## 工事の申し込みは町の指定業者へ

給排水設備の新設、改造、修繕、撤去などの水道工事や水洗化工事を行うときは、町が指定した工事業者へ工事の申し込みをしてください。指定工事業者が建設水道課へ必要な手続きや、水洗化工事における融資あっせん制度、補助金制度の手続きを取り、工事を行います。

問合せ  
建設水道課  
水道・下水道担当  
0221-81222

平成30年度 水道工事・下水道工事計画図







# 交通安全を願って



4/13 本別中央小学校交通安全教室

本別中央小学校（山川修校長）1年生28人を対象とした交通安全教室が4月13日、同校周辺で行われ、児童らは交通安全指導員や同校教諭の指導のもと、横断歩道の渡り方など、事故に遭わないための交通ルールを学びました。

春の陽気に誘われ、外に出かける機会も増えてきました。雪解けて道路状況が良くなりましたが、スピードの出し過ぎには注意しましょう。新入学児童も元気に登校しています。悲惨な交通事故が起きないように、「春の全国交通安全運動（4月6日から15日）」に合わせて、町内のさまざまな団体が各種取り組みをスタートさせました。



4/6 交通安全運動出動式

春の全国交通安全運動出動式が4月6日、本別警察署で行われました。交通安全関係団体など約20人が参加する中、松谷剛本別警察署長は、「子供たちの通学も始まり、関係機関や団体の協力を得ながら交通事故を防ぎたい」とあいさつ。同署交通課の對馬大介主任による出動宣言のあと、パトロールカー5台が赤色灯を回して、一斉に市街地に出発しました。



4/17 町交通安全推進委員会

町交通安全推進委員会が4月17日、町体育館中競技室で行われました。開催に先立ち、12人が町交通安全指導員に委嘱され、出席した6人が会長の高橋正夫町長から委嘱状を受け取りました。同指導員らは今後、2年間の任期の中で、交通安全に関する事業を推進します。

## 各種団体の皆さんが交通安全を呼び掛け



4/10 交通安全指導員会 春の登校時の交通安全キャンペーン

町交通安全指導員会（宮崎統会長）が4月10日、春の登校時の交通安全キャンペーンを行い、関係機関から約30人の参加者が、関路4か所で児童・生徒に交通安全啓発用ポケットティッシュやキーホルダーなどを配付しました。また、ドライバーに対する交通安全街頭キャンペーンが各団体で取り組まれました。同10日に建友会（三木哲会長）の会員ら約30人が南4丁目の国道242号線沿いで、同11日には北海道警友会十勝支部本別地区（坂井久恵地区長）

の8人が、同12日に本別ライオンズクラブ（砂原勝会長）の会員16人が北8丁目ふれあい公園で、それぞれ交通安全街頭キャンペーンを行い、ドライバーに交通安全啓発チラシなどを手渡ししながら、安全運転を呼び掛けました。同13日には交通安全母の会（田西喜代会長）が旧駅前国道交差点で街頭啓発を行い、会員6人がスピードダウンの旗を掲げながら、マイクを通して交通安全を訴えました。

**十勝管内の交通事故状況**  
平成29年の十勝管内の交通事故死者数は14人で、このうち1人は本別町内で発生した事故によるものです。平成30年は、十勝管内で既に2人（3月末現在）が交通事故で亡くなっています。

### 町民の皆さんへ

交通事故は、取り返しのつかない事態を招いてしまいます。通り慣れた道では、気の緩みからくる脇見や居眠りなどが事故につながります。また、シートベルトをしていれば助かった事故も発生しています。後部座席も含め、全座席でシートベルト装着の徹底をお願いします。春になり、新一年生が通学しています。子どもの登下校時には地域ぐるみでの見守りをお願いします。

町民の皆さんには、交通事故を防ぐためにも、家庭や職場、学校などで互いに「車に気を付けて」などと一声掛け合ってほしいと思います。



4/10 建友会



4/11 警友会



4/12 本別ライオンズクラブ



4/13 交通安全母の会



本別警察署 松谷 剛 署長





3/27

友情と再会を誓う「チクチャク」。楽しかった思い出を胸に南三陸町のジュニアリーダーたちは本別町を後にしました。

### 事業担当者より

ジュニアリーダーを志す同じ仲間を支えられ、宮城県南三陸町と本別町の中高校生たちの交流は30年以上も続いています。そんなひたむきで純粋な中学生のみんなに大人たちはいつも感動させられます。東日本大震災で南三陸町が被災した時に、いち早く反応したのが当時交流をしていた中高生たちでした。仲間の安否を気遣い、情報収集をしてくれたおかげで本別町からの支援のきっかけを作ってくれました。両町はしばらく交流研修会の中止を検討しましたが、互いのジュニアリーダーの熱い思いが行政を動かし現在に至ります。みんなには今しかできないことがあります。これからもあきらめず悔いのないように活動を続けて、大人になっても頑張った頃の気持ちを忘れずに成長してほしいと願うばかりです。がんばれ！ジュニアリーダーたち！



3/26

スポーツレクではキンボールや玉入れに挑戦



最後の夜は雪の中のキャンプファイア。ダンスやレクで盛り上がりました。最後に南三陸町の引率者よりこの活動の素晴らしさ、またジュニアリーダーからは活動への思いが涙ながらに語られました。



この交流会に参加して本当に良かったです。最高の思い出ができました！

今回参加した中高生から感想は、表現は違えどみんな同じ感想でした。この交流研修会は、夏は宮城県南三陸町で、春は本別町でボランティア（ジュニアリーダー）をしている中高生たちが、さまざまな活動を通じて自身の生きる力を高めていく研修会です。今回は3月24日（土）から3泊4日で開催され、南三陸町から7人のジュニアリーダーが来町し、本町の中高生と充実した交流研修会ができました。

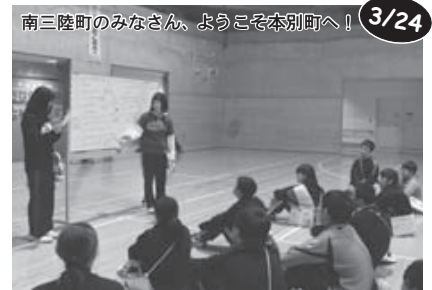


大自然の中での歩くスキー体験

3/25



夜はレクリエーションで大盛り上がり



南三陸町のみなさん、ようこそ本別町へ！

3/24

お互いの町のジュニアリーダー活動を紹介しました



## ご案内

夏の「第34年度ふるさと交流研修会」は夏休みに開催！

日程 平成30年7月30日（月）～8月4日（土）5泊6日

行き先 宮城県南三陸町

募集数 中学生10人程度

諸費用 ひとり2万5000円程度

交通機関 バス・フェリー

内容 南三陸町内研修  
ジュニアリーダー養成研修  
仙台市視察研修

\*詳しくは5月下旬に学校を通じてご案内します。南三陸町でのリーダー養成研修に参加すると、宮城県教育委員会より「ジュニアリーダー初級認定資格」が交付されます。



中央公民館内 社会教育担当  
お問い合わせ  
☎22-5111



# 平成30年度 町内小・中学校

# 本別高等学校・農業大学校入学式

平成30年度の町内小・中学校、本別高等学校ならびに農業大学校入学式が4月9日、大勢の在校生や保護者などが見守る中、各校で開かれました。児童生徒の皆さんは、今までとは異なる環境に不安を抱きながらも、新生活に希望を描いて初登校しました。



## 希望を胸に 新生活スタート

今年の入学者数は、小学校41人、中学校59人、本別高校32人、農業大学校72人。

北海道立農業大学校入学式では、山黒良寛校長が「実践力・行動力・問題解決力を養い、農業の担い手となるよう、探究心、向上心を持って農業の実践力を身につけてほしい」と生徒を激励。新入生を代表し、福地一貴さんが「先輩が築かれた伝統と校風を受け継ぎ、一層発展するよう努力します」と力強く宣誓しました。

勇足小学校入学式では、7人の新1年生が担任の國木勇輔教諭に引かれて会場の体育館に入場し、一人ひとりの名前を紹介されると、大きな声で「はい！」と元気に返事をしました。濱田和光校長が「入学おめでとうございます。交通安全に気をつけて、あいさつを忘れず、早寝早起きをして、元気いっぱい学校へ通いましょう」とお祝いの言葉を述べ、児童らはそれぞれの希望を胸に新たな学校生活の第一歩を踏み出しました。



(写真上) 北海道立農業大学校入学式  
(写真中) 宣誓する新入生代表の福地一貴さん  
(写真下) 勇足小学校入学式では新入学児童7人が元気に入場

# 平成30年度から 国民健康保険制度が変わります

その4

これまで3回にわたり、制度改正の内容について広報紙等でお伝えしてきました。今回は、国民健康保険運営協議会の答申、本別町議会の議決を経て決定しました平成30年度の税率等についてお知らせいたします。

## 平成30年度国民健康保険税率等が15年ぶりに改定

【税率等が次の通り改定されました】

※税率改定に合わせて資産割が廃止されました

区分	所得割		資産割※		均等割(被保険者数)		平等割(世帯)	
	現行 ~H29	改定 H30~	現行 ~H29	改定 H30~	現行 ~H29	改定 H30~	現行 ~H29	改定 H30~
医療分	6.30%	7.62% (+1.32%)	40.0%	— (▲40.0%)	25,200円	28,700円 (+3,500円)	26,800円	19,900円 (▲6,900円)
後期高齢者 支援金分	1.70%	2.44% (+0.74%)	10.0%	— (▲10.0%)	6,800円	9,300円 (+2,500円)	7,200円	6,500円 (▲700円)
介護納付金分	0.75%	1.86% (+1.11%)	3.50%	— (▲3.50%)	7,500円	9,600円 (+2,100円)	5,500円	5,000円 (▲500円)

※資産割廃止の主な理由  
①利益を生まない居住用などの資産にも課税されていること  
②本別町内の固定資産だけが課税対象となり、他市町村分は対象外になること  
③所得がない人にも資産割は課税されるため、低所得者層の負担となっていること

制度改正に伴う、役場での手続きはありません。また、医療機関を受診した際の、窓口での自己負担割合も変更ありません。



【葬祭費も改定されました】  
国民健康保険加入者がお亡くなりになったときに支給される葬祭費が次の通り改定されました。  
〈平成29年度まで〉 1万円  
〈平成30年度から〉 3万円

### 【納期が増えました】

皆さんが1期に納める保険税額を小さくし、納付しやすい環境を整えるために、普通徴収(納付書、口座振替)の納期が次の通り改定されました。  
〈平成29年度まで〉  
7月~12月までの6期  
〈平成30年度から〉  
7月~2月までの8期



国民健康保険運営協議会の河合篤史会長が2月27日、制度改正について答申

### 国民健康保険に 加入されている皆さんへ

制度改正に伴い、平成30年度から国民健康保険税率等が改定されました。この改定により、皆さんに納めていただく保険税が増額(一部減額)となります。ご理解をいただくとともに、次のことにご協力をお願いいたします。  
▼納期内納付にご協力ください  
国保財政の健全経営には、保険税の滞納を無くすることが大切です。事情があり滞納している世帯には、納税相談によりそれぞれの事情に応じた納付方法をお勧めし、より納付しやすい環境を提供しています。  
▼健康管理に努めましょう  
町では、特定健康診査・特定保健指導等の保健事業を実施しています。健康管理の知識を広く、病気の早期発見・早期治療に努めることは、皆さんに健康をもたらす、安心して医療を受けられる国保制度の継続につながります。

住民課国民健康保険担当  
0222-80-1280

# HELLO

本別町民文芸  
沖積土

「沖積土」(ちゅうせきど)という冊子をご覧になったことはありますか?これは、町民の皆さんや本別町にゆかりのある人からエッセーや創作、ノンフィクション作品などを寄稿していただき、毎年11月3日(文化の日)に教育委員会が発行する町民文芸誌です。中でも「特集」は、毎号さまざまなテーマを設け、皆さんの思いをまとめ、お届けしています。

## 本別町民文芸「沖積土」は、平成31年度に創刊から50年目を迎えます

### ■ 誌名の由来 ■

昭和35年に発足した町文化協会の初代会長、大関直英氏が、同協会の機関紙「沖積土」第2号(昭和39年発行)で「文化=カルチャー(culture)には、耕作するという意味もある。色々なものが流れ集って堆積してできた『沖積土』を耕作して、それぞれに花を咲かせ実をみのらせる。これが文化活動である」(一部抜粋)と記しています。本町の自然と歴史が融合され、文化への思いが込められた名前であることが分かります。

### ■ 「沖積土」の歴史 ■

昭和38年11月3日 文化協会機関紙として「沖積土」第1号発行  
同会の活動を広く理解してもらうことを目的に、4~6ページの情報紙として昭和44年の第7号まで刊行。

昭和45年 冊子として「創刊号」発行  
体育館・公民館(現・町体育館)の新築・改築落成記念文化事業として、現在のような冊子形態で発行。

昭和60年 機関紙から町民文芸誌へ  
編集委員会の「文芸誌を作りたい」という強い思いにより、第16号から町民文芸誌としてリニューアル。

多くの皆さんからの寄稿と、歴代の編集委員の皆さんの努力に支えられて、昨年度第48号まで発行してきました。

### ■ 第50号に向けての取り組み ■

平成30年度の第49号、31年度の第50号の特集テーマを「戦争」としました。編集委員会では、戦争体験者からの聴き取りを進めていますが、体験の有無にかかわらず戦争に対する思いを収録し、50年の記念号として残したいと考えています。戦争にまつわる手記、映画や本の感想などでも結構です。ぜひ、お話や作品をお寄せください。

本別町民文芸「沖積土」第49号原稿募集  
応募期間 平成30年5月1日(火)~6月29日(金)

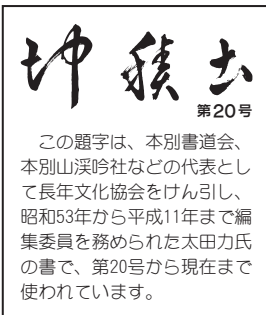


本別町民文芸 沖積土編集委員会の皆さん

4月に教育委員会から、2年間の任期で委嘱を受けました。新しいメンバーも加わり、8人でスタートいたします。皆さんよろしくお願いいたします。

委員長 和田優江

問い合わせ 本別町教育委員会 社会教育課 社会教育担当 ☎22-5111



沖積土  
第20号

この題字は、本別書道会、本別山溪吟社などの代表として長年文化協会をけん引し、昭和53年から平成11年まで編集委員を務められた太田力氏の書で、第20号から現在まで使われています。



みなさんこんにちは。地域おこし協力隊、農福連携事業支援員の柏木です。  
昨年7月の着任から10か月、初めて迎えた冬もおかげさまで無事に乗り越えることができました。二ノズにもありました。4月中旬で既に夏日を記録する「一年の半分以上が夏」の東京。そこからやってきた私には当初「二年の約半分が冬」「マイナス二桁の世界」というのは想像できない不安がありました。しかし、実際開けてみるとそれはそれは新鮮で、美しい景色が広がる素晴らしい世界でした。十勝晴れの朝に裏山の樹氷を飽かずに眺めたり、通勤途中に見える真っ白に雪化粧した大雪山系に惚れ惚れしたり。冬の北海道を経験し、すっかり道産子気取りのこの頃です。この新鮮な気持ちを持ち続けながら今後も活動していきたいと思っています。

## 地域おこし 協力隊が行く



Part 3

昨年からは、本別町内で活動を始めた「地域おこし協力隊」。農福連携事業支援員の柏木祥子さんが、その取り組みや本別町の暮らしについて、紹介します。

### 新たな形の連携スタート

さて、前置きが長くなりましたが、現在、私が取り組んでいる活動について紹介します。本別町で農福連携の取り組みが始まって丸2年。これまでには福祉施設が借りた畑での自主栽培が主でしたが、昨年からは町内の福祉施設の利用者が実際に農家に出向いて仕事をし、新たな形の農福連携が始まっています。



連携初日はゴボウの収穫。  
はたけが、な、ながい...

二ノズを補うことができないか。町内の農家さんからお話を聞かせていただく中でも、皆さん労働力の確保に大変苦労されているのがうかがえます。農家の労働力を補完する役割を担う農業アルバイト「出番さん」。忙しい農業現場には欠かせない存在ですが、その出番さんの高齢化と減少は本別町に限らず、国内でも課題となっています。一方で、福祉施設は働く利用者の給料(工賃)を少しでも増やすため、日々、仕事の確保に苦労しています。双方の二ノズがうまくマッチし、少しずつ相乗効果を生み出しているのが今回紹介する農福連携の取り組みです。

西仙美里にある三井農場と、北一丁目にある特定非営利活動法人ほんべつフリーライフでは、昨年11月から業務委託契約という形で、農場の仕事の一部をフリーライフが請け負って作業を行っています。具体的には、実際に畑に入ってゴボウの収穫をする中で、大根やジャガイモの袋詰め作業をしてきました。年度が替わった4月からも連携を継続

### 連携を始めてみて

連携が始まって約5か月。家族だけでは手が回らなくなってきたのを感じていた三井農場の感想としては、必要な時に必要な人手を確保できるようになったことで、商品ロスが減ったこと。なにより自分たちが別の仕事にかかる時間が作れたことで、より多くの仕事をこなせるようになったら、連携のメリットを感じてもらえていっているように思います。フリーライフとしては、純粋に仕事が増えたこと、利用者が選択できる仕事の種類が増えたこと、それは一つ大きいと思います。そのことにももちろん受け取る給料(工賃)にも反映されています。就労の訓練や収益増という効果だけでなく、近年国内



雨にも冬の寒さにも負けず、袋詰めは続く

で広がっている農福連携の報告には、農作業を通じた心身の癒しやリハビリ効果「農の福祉力」もまた注目されており、私自身も利用者の仕事に対する意欲・作業精度の向上、表情の変化など、うれしい効果を実感しています。  
活動の場が施設から地域へと広がることは農福連携の目標のひとつでもあり、まちとしても豊かなことだと思います。労働力を必要とする農業現場が、労働を希望する人にとつての活躍の場になる。二ノズを補うだけでなく、地域のつながりを担うような取り組みとなります。今後も活動していきます。



温かい飲み物とおしゃべりでホッと一息

問い合わせ  
総合ケアセンター  
障がい者福祉担当  
☎22-85220



## 民間企業が HUGを体験

4 2

野田組（野田仁社長）によるHUG（避難所運営ゲーム）を活用した防災訓練が4月2日、町体育館で行われ、社員ら21人が参加しました。はじめに町の防災担当者が、災害発生時に町が行うことや住民に行ってほしいことなどを説明。その後、参加者は3班に分かれて、避難所で起きるさまざまな状況や適切な対応について、HUGを活用しながら学びました。



## 豊かな音色に 体弾ませ

4 6

子育て・家庭教育事業おやこのためのふれあい音楽会（教育委員会主催）が4月6日、認定こども園ぼんべつで開催されました。本別高校吹奏楽部（貝瀬末有部長）と同校で保育士を目指す生徒ら計20人が息のそろう演奏、絵本の読み聞かせを披露。同園の園児126人と親子20組46人が来場し、アニメソングや童謡と一緒に歌い、曲に合わせて手拍子や体を動かすなど楽しいひとときを過ごしました。



## バスに乗って映画館へ

3 27-30

ふるさと銀河線代替バス振興会議（北谷和雄会長）による、小学生を対象とした春休み映画観賞バスツアーが3月27日から30日の4日間、十勝バス帯広陸別線の本別帯広間で行われました。平成20年から開催され、今年で10回目となる同ツアーには、これまでで最も多い113人が参加。バスの車内では、引率のボランティアからバスの乗り方や料金の見方、乗車マナーを学び、帯広市内の映画館で人気キャラクターの映画を鑑賞して楽しみました。



## 百歳おめでとございます 町敬老祝い金の贈呈

3 30

小栗カネさん（負殿2）が3月30日に100歳を迎えられるにあたり、ゆうあいの里で高橋正夫町長から敬老祝い金が贈呈されました。

カネさんは大正7年に網走市でお生まれになり、23歳で故益夫さんと結婚。農業に従事しながら5男1女のお子さんを育て、孫14人、ひ孫15人、やしゃご2人に恵まれました。カネさんは現在、ゆうあいの里を利用しながら、長男の孝さん家族と同居しています。パッチワークや人形などの小物作りが趣味だったそうで、今でも針仕事をこなすとのこと。「好き嫌いはなく、なんでも食べます。100歳になり、なんとも言えないほどうれしいです」と喜びを語りました。



明治30（1897）年に「北海道有未開地処分法」が施行され、広大な土地が入手しやすくなる。道外からの大農場による開墾が盛んになりました。本別町でも、同年に勇足地区、仙美里地区にそれぞれ団体が入植。本別地区にも数戸が移住し、それから各地区の開拓が進みました。「歴史写真館@ぼんべつ」2回目は、徳島県から勇足地区に入植した移民団による「利別農場」の写真と、本別開拓八翁の一人である東條儀三郎が残した資料を紹介しています。



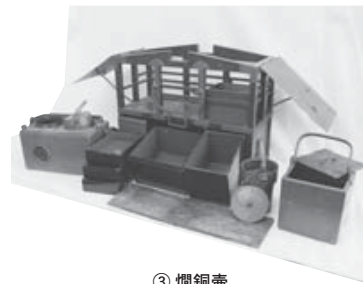
① 利別農場事務所と麦の選種作業（明治43年頃撮影／歴史民俗資料館所蔵）



② 「貫心流」免許皆伝書

写真①は明治43年に発行された「十勝国産業写真帳」に掲載されている1枚です。拡大してよく見ると、建物玄関の看板は「合名会社利別農場」と読めます。この農場は明治30年、徳島県那賀郡の板東勘五郎（当時衆議院議員）らが貸し付け許可を得た原野に、同郡立江村の村長だった東條儀三郎が、同年農場管理人として小作61戸を率いて入植。利別川流域にあった1千ヘクタール余りの農場は、当初「板東農場」と呼ばれていましたが、その後利別農場と呼ばれ、同38年「合名会社利別農場」となります。この頃、畑では豆類、イナキビ、バレイシヨ、麦などが作付け・収穫されていました。その様子を詳細に記録した帳簿類やさまざまな文書は、写真とともに東條家で大切に引き継がれ、開拓時代の農業や流通、日常生活を知る上でとても重要な資料として、現在歴史民俗資料館で保管されています。他にも、儀三郎が明治16年に故郷で取得した剣術「貫心流」免許皆伝

歴史民俗資料館  
（☎22-2141 内410）  
図書館（☎22-5112）



③ 爛銅壺

の巻物（写真②）や、歳月の重みを感じさせる爛銅壺（写真③）など、貴重な実物資料も多く残されています。この爛銅壺は銅板と木で作られた携帶酒燗器で、炭火で水を温める熱燗機能や、二人で運ぶための棒を通す穴があり、とっくりや重箱を格納できるなど、コンパクトで機能的。当時の知恵と趣を今に伝えます。花見シーズン到来。昔々の東條家の皆さんも、この爛銅壺を持ち運び、酒を酌み交わしながら、勇足の桜を楽しんでいたのかもしれない。

## 春の訪れ、 野外施設オープン **4/14**

本別町内の公園や野外体育施設などが4月から順次オープンし、春の訪れを感じながら大勢の利用者でにぎわっています。このうち、本別公園では14日から遊具施設が利用できるようになり、多くの観光客や家族連れがゴーカートやボートなどを楽しみました。また、野外体育施設は21日から利用が開始されました。



## キノコ菌の植え付けを体験 **4/14**

キノコ栽培研修会（本別町林業グループ主催＝山下正範会長）が4月14日、役場駐車場前で行われました。参加者と同グループ計40人は、十勝総合振興局森林室の職員からシイタケ種菌の植え付け方法や自宅での管理方法などについて説明を受けた後、4班体制で作業を開始。100本のほだ木に電動ドリルで穴を開け、種菌を金づちで植え付けました。植菌されたほだ木は、各家庭での栽培用としてそれぞれ持ち帰りました。



まちの情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121

# みんなの健康

405

「歩く」ことは日常生活の中で重要な動作になりますが、加齢や病気などで体力が落ちてきたときにも、福祉用具をうまく利用し、環境を整えることで「歩く」ことや日常の動作を続けることができる場合があります。

## 「歩く」ための福祉用具

例えば、椅子やベツドからの立ち座りや部屋を移動するときの動作を助ける「手すり」は、住宅改修で取り付けるものと、福祉用具で設置するものがあります。福祉用具の手すりは工事が不要で、すぐに設置・移動・撤去できる利点があります。ベツドの近くに、床に置くタイプの手すりを設置することで、ベツド柵のように掴まることができ、起き上がりや立ち上がりが楽になるなど、壁のない広い空間でも、条件が整えば安全に室内の移動を行うことができます。

また、広く普及している「杖」は、先端のゴムが擦り減ると、体重を掛

けたときに滑って転倒に繋がる恐れがあるため、減りに応じて交換の必要があります。最近では性能の異なるさまざまな種類のゴムが出てきているので、ご使用の杖の先を一度確認してみると良いと思います。外出に欠かせない「靴」は、脱ぎ履きのしやすいものや、足の「浮腫み」に対応したもの、足の状態に合わせ、片足ずつ購入できる製品などがあるようです。

このように最近では便利な福祉用具が増えていますが、商品の選択や使い方を誤ると、その性能を十分に引き出せず、時には危険が伴います。



地域包括支援センター  
介護支援専門員  
中島 麻希子

使用する人のお体の状態や住まいの環境、用具の大きさ・安定性が選択の大きな判断基準になります。福祉用具の中には、介護保険を利用して借りることも購入することができるものがあります。詳しくは地域包括支援センターにご相談いただき、歩くための福祉用具を有効に活用してもらいたいと思います。

# 銀河ホップアラウンド

## 足寄町

開町110年記念

### 第37回

## 足寄ふるさと花まつり

春の訪れを感じながら、家族や友人と焼き肉を食べて楽しいひとときを過ごしませんか。皆さんのお越しをお待ちしています。

日時 **5月27日(日)**  
午前9時45分～

## 陸別町

## オフロードバトル 2018

今年の陸別のモータースポーツの幕開けとなる「オフロードバトル2018」が開催されます。



□場所 足寄町役場横駐車場  
□内容 町民ステージショー、丸太切り競争、カマス挙げ大会、あゆみちゃんフワフワドーム、コロッケ美味しく食べる選手権、焼肉用七輪貸し出しなど

□問い合わせ  
足寄町後場経済課商工観光・エネルギー担当  
☎2512141 内線251

□とき **5月20日(日)**  
午前9時スタート

□入場料 大人 1200円  
(高校生以下 無料)

□問い合わせ  
陸別町後場産業振興課商工業振興担当  
☎2712141 内線135

## 「子ども祭り」を開催します

旧仙美里中学校施設等を活用する仙美里ラロジエクト「朝日曙光代表」は、5月5日(土)、6日(日)の2日間、子ども祭りを開催します。当日は同校体育館を無料開放し、ボルダリングや卓球など自由に利用することができます。また同日、三十四駆大会が同体育館内に設置された2つのコースで、一般・子ども別に開催されます。迫力あるレースが行われますので、参加はもろろん、見学のみでも大歓迎です。

◆日程 5月5日(土)、6日(日)  
◆体育館無料開放  
時間・午前10時～午後8時  
持ち物・上靴

◆三十四駆大会  
時間・午後1時～(両日同じ)  
持ち物・三十四駆マシンの参加料・1人500円  
※見学は無料です  
◆問い合わせ(朝日代表)  
☎09001827712199



## ご寄付ありがとうございます

平成30年3月16日から4月15日

次の通りご寄付をいただきました。  
紙上を借りて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

★勇足へき地保育所指定  
交通安全帽子 10個  
…………… 本別ライオンズクラブ 会長 砂原 勝  
個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付  
計 金 4,155,000円 …………… 284人



# 本のある暮らし

206

# 運動をもっと楽しく

～健康な毎日のためにできること～

## 戸籍のまど

### お誕生

3月後半から  
4月前半の  
届出分

- 川村 耀太よした 和也わだ 美里みさと 3/19 清流町
- 高橋 我空がく 祐介すけい 由華ゆま 3/29 北6丁目
- 岸田 優馬ゆうま 克哉かつや 依重よしむね 4/4 錦町
- 青木 柚那ゆな 良太りょうた みなみみなみ 4/9 南4丁目

### ご結婚

- (小川 翔也しょうや 音更町  
岡崎 小春こはる 北5丁目)

### おくやみ

- 田中 征廣せいこう 78歳 3/19 勇足元町
- 田岡 ナミなみ 97歳 3/29 緑町
- 大原 廣治こうじ 90歳 4/2 北6丁目
- 佐々木 稔のぶ 83歳 4/3 仙美元町
- 荒井 美淑みしゆ 81歳 4/9 清流町
- 小島 さ江子さえこ 97歳 4/13 勇足東5
- 前田 保男たもつ 85歳 4/14 北6丁目

## わたしたちのまち

前月比

人口 **7,052人(-160)**

男 **3,427人(-104)**

女 **3,625人(-56)**

世帯数 **3,606戸(-73)**

〔3月末日住民基本台帳〕

風薫る5月。外での活動が心地よい季節となりました。

冬季間の運動不足が気になる…。ダイエットを始めなくては…。でもなかなかエンジンがかからない！そんな皆さん必見の本を紹介いたします。読んで運動の大切さと効果を知ると、もっと楽しく体を動かせますよ。

## 生活習慣病対策に…



### 健康ダイエット

(別冊NHKきょうの健康)

栄養・運動・休養が、健康づくりの3要素。ここでは、食事と運動をうまく組み合わせた「健康になることが目的のダイエット」を勧めています。病気予防のためにも、生活の中で少し身体活動を増やすことから始めましょう。

## 脳と体に元気を…



### スロージョギング健康法

著/田中宏暁

笑顔を保てる程度の運動が、心身の健康維持に効果的！スロージョギングは、ニコニコできるペースでゆっくり走るだけの気軽な運動です。体だけでなく、脳が活性化するなら、老化予防にも役立ちそうですね！

図書館では「ほんべつ健康ウイーク2018」(5月28日～6月3日開催)に向けて、気軽にできるスポーツや健康維持に役立つ運動法などをテーマにしたコーナーを設けます。ぜひご活用ください。

お問い合わせ先

## 本別町図書館

(愛称:ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112